

# 令和7年 第11回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和7年12月11日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

出席委員の氏名

教 育 長 榊原 寛二

教育長職務代理者 森田 教夫

委 員 堤田 綾子

委 員 鋤柄佐千子

委 員 浅野俊太郎

出席職員の氏名

教 育 部 長 長澤 成江

生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長 横田 覚

歴史民俗資料館長 奥野 真光

給食センター所長 青木 隆

学校教育指導主事 小田島 健

学 校 教 育 課 長 森田 光一

町 民 会 館 事 務 長 森田 明男

生涯学習スポーツ課課長補佐 神谷 芳美

学校教育課課長補佐 池田 雅史

学校教育指導主事 石田 貴之

：欠席者

## 1. 開会 午後1時30分

## 2. 開会宣言並びに令和7年第10回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員2名を確認し、会議の成立及び第11回定例会の開会を宣言します。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

## 3. 教育長報告

- 11月 6日(木) ・ 定例教育委員会
- ・ 教育委員と校長との人事面談
- ・ 教育懇談会
- ・ 表敬訪問 第53回絵画コンクール我ら海の子展  
国土交通大臣賞(小学生低学年以下の部) 中山保育園 年長
- 11月 7日(金) ・ 県町村教育長会研修会
- 11月11日(火) ・ 表敬訪問 第19回JKJ0全日本ジュニア空手道選手権大会  
中学2～3年男子47kg未満 出場予定 武豊中3年

- 小学3年男子 27kg 未満          出場予定   緑丘小3年
- 11月13日(木)    ・表敬訪問  
第107回全国高等学校野球選手権大会愛知大会   優勝  
第107回全国高等学校野球選手権大会   出場  
豊橋中央高等学校3年
- 11月16日(日)    ・たけとよスポーツ Day
- 11月20日(木)    ・定例校長教委管理職会議
- 12月 6日(土)    ・第18回愛知県市町村対抗駅伝競走大会   町村の部   第9位
- 12月 9日(火)    ・学校運営研究会
- 12月10日(水)    ・表敬訪問   バイオリン奏者   安城学園高等学校2年  
第14回日本学校合奏コンクール 2025   全国大会  
グランドコンテスト(高校生の部)弦楽合奏  
最優秀、奨励賞  
ソロ&アンサンブルコンテスト・アンサンブル部門  
最優秀
- 12月11日(木)    ・町定例教育委員会

(教育部長)    議事進行を教育長にお願いします。

#### 4. 議 事

(教育長)        ここで本来であれば議事に入るところですが、本日議事はありません。

#### 5. 報告事項

(教育部長)    続いて、報告事項に移ります。

##### (1) 令和7年 第4回武豊町議会定例会一般質問の概要について

(教育部長)    当日配付資料についての説明

鈴木議員…ゆめたろうスマイルマラソン中止について

石原議員…公共施設の再編について

石川(喜)議員…令和8年度予算編成方針について

櫻井議員…指定管理者制度の適切な運用と公共施設の有効活用について  
子どもの尊厳を守るための体罰根絶に向けた武豊町の取り組みにつ  
いて

甲斐議員…包括的性教育について

青木議員…中学校部活動の地域展開について

##### (2) 小・中学校卒業式・入学式について

(指導主事)    資料1の説明

・出席者の確認

・告辞・来賓祝辞・服装に関する事項の確認

(3) 年度末・年度始 各種行事の出席依頼等について

(指導主事) 資料2の説明 出席者の確認

- ① 小中学校卒業式(小3/19、中3/6)
- ② 退職辞令伝達式(3/31)
- ③ 教職員発令通知式・教委辞令伝達式(4/1)
- ④ 小中学校入学式(小4/8、中4/9)

(4) 辞令伝達式等の日程について

(指導主事) 資料3について説明 出席者及び日程、会場の確認

(5) 令和8年度学校給食実施予定日について

(給食センター所長) 資料4の説明

令和8年度は、計186回の給食を実施予定

(6) 卒業お祝い給食週間について

(給食センター所長) 資料5について説明

【卒業お祝い給食】2月16日(月)～2月20日(金)

(7) 学校の近況について

(指導主事)

- ・各校の様子及び今後の予定、学級閉鎖、不登校児童生徒数の推移、教育支援委員会の結果、アレルギー対応委員会について 等

(8) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料6について説明(12月～3月)

6. その他

(1) 町民会館より 配付資料

- ・各種事業について

(2) 生涯学習スポーツ課より

- ・その他連絡事項等なし

(3) 学校教育課より

- ・その他連絡事項等なし

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

- ・ 先程の報告にありましたが、教育支援委員会での審議を経て、来年度の進学、進

級が決まってきました。特別支援学校、通常の学級、特別支援学級など、それぞれの進学、進級先で、その子にとって、よりよい学校生活を送ることができるようにしてほしいと思います。

- ・ 懇談会の時期になり、もうすぐ冬休みが始まります。子どもたちは、冬休みに入ると、お金を手にする機会が多くなると思います。冬休みの生活について、心配な部分もありますが、各学校の終業式では冬休みの生活についてのお話がされると思います。子どもたちにとっては繰り返しの内容になるかもしれませんが、お金の使い方や自分の身の守り方などの指導を引き続きお願いしたいです。
- ・ 不登校児童生徒数について報告がありました。全て欠席している児童生徒数は、数値で表れやすいので、教育支援センターやスクールソーシャルワーカーなどの支援が入りやすいと思います。全て欠席ではないが、時々登校できる児童生徒は数値で表れにくい部分があるので、その子たちが学校や家庭でどう過ごしているのか気になっています。登校できない日が続くと、家庭で過ごすことへの安心感を求めるようになり、子どもたちの中には登校への一歩を踏み出しにくくなる子もいます。子どもから家にいたいと言われたとき、親としては、その思いを受け止めたい気持ちもあれば、学校に行ってほしいという気持ちもあると思います。登校できている状態の内に、そういった子たちへの支援も充実させることができるとよいと思います。

#### （教育委員）

- ・ 新聞報道で、学校の先生方が保護者の対応でかなり苦慮されているという記事がありました。先生方の中には、休職や離職される方も多いということです。保護者対応の取り組みとして、奈良県の取り組みが紹介されていました。奈良県では、子育てステーションという所に、校長や園長経験者などをスーパーバイザーとして配置し、年間で80件ほどの保護者対応をしているそうです。熊本県でも同じような取り組みとして、学校問題解決支援窓口を開設しており、そこには、校長経験者等を数名配置し、年間140件ほどの保護者対応をしているそうです。両県ともに設置理由は教職員の負担軽減です。1時間以上、保護者対応をするケースもあるなかで、学校以外で保護者対応をすることにより、先生たちにも心の余裕が生まれるのではないかと思います。
- ・ 新聞報道で、学力に関する記事がありました。埼玉県公立小学校では、塾のノウハウを取り入れて授業をしているそうです。5年生の算数で試験的に導入しているそうですが、子どもたちはタブレットで問題の解説を視聴し、そのあと問題を解くという流れです。問題の解答は紙に記入し、自分で丸付けをして、次の課題に進んでいきます。先生は、その進捗状況を確認しているそうです。授業中、子ども同士で教え合う活動もあるそうです。教える子どもは、知識の定着を図ることができますし、教えられる子どもも、先生とは違った視点で教えられるというメリットもあります。先生たちは定期的に、塾のコーディネーターの方たちとディスカッションをし、授業について振り返り、今後の授業について考えるそうです。

また、以前お話した外国語教育についてですが、三河地方の学校や半田市では、外国にルーツのある子どもたちの日本語教育を、アウトソーシングで取り入れており、先生たちの負担軽減や効率化につながっています。

2つの取り組みは、いずれも予算が必要なことであり、導入するためには予算確保が一つのハードルになるかと思っています。

- ・ 先日、自衛隊の音楽会に参加させていただきました。久々に生の音を聴くことができ、大変よいものだと思います、土曜日の朝6時から「題名のない音楽会」という番組がありますが、知多市にある、子どもの金管バンド「ちたUMEプラス」にプロの方が教えに来てくれて、吹奏楽をするという企画が夏休みにありました。ちたUMEプラスでは、小学校の部活動が廃止になったことに伴い、使われなくなった小学校の楽器を使っているそうです。プロの方が教えたことにより、実際に小学生が出す音が変わっていく様子を見て、プロの方たちと関わる機会が武豊町でもあるとよいと思いました。

吹奏楽に関連して、他の地域では中学校でも吹奏楽部がなくなっているところもあるそうです。そうすると、楽器を触る機会の少ない子どもたちが増えていきます。今後、子どもたちの音楽離れが進んでいくのではないかと危惧しております。

- ・ これから受験のシーズンになります。インフルエンザだけではなく、ケガにも気を付けていただき、万全な体調で受験に臨むことができるようにしていただけたらと思います。

(教育部長)    ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同)    ありがとうございました。

令和    年    月    日  
署 名

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

作成者.....小田島 健